

## 平成 29 年度予算について

## 「がんばろう倉吉 震災からの復旧復興予算」

## 1. 一般会計予算規模等

- ・ 276 億 5,899 万 9 千円 対前年度 2 億 9,265 万 5 千円減 1.0%減
- ・ 予算規模は、昨年度に次いで過去 4 番目の規模
- ・ 新規事業数 61 (H28 は 69)

(単位：千円)

区 分	H29 年度 当初予算①	H28 年度 当初予算②	増 減 ① - ②	前年度 対比(%)
一般会計予算	27,658,999	27,951,654	Δ 292,655	Δ 1.0%

## 2. 重点事項

(1) 震災からの復旧復興 総額 20 億 1,311 万 8 千円

(2) 地方創生への継続的な取り組み

※主な事業は「6 主な事業」を参照。

## 3. 財政状況

- ・平成 29 年度末一般会計市債残高は 315 億 8,784 万 4 千円と平成 27 年度以降 300 億円を超えている状況。
- ・震災対応や平成 29 年度予算編成によって、平成 29 年度末一般会計基金残高は平成 27 年度末残高 54 億 8,153 万 9 千円に比べ 17 億 4,671 万 9 千円減の 37 億 3,482 万円。特に財政調整基金残高は 2 億 1,649 万 9 千円と大きく減少。
- ・普通交付税は合併算定替の減少及び高齢者福祉費の単位費用の減などで平成 28 年度対比 3 億 4,000 万円の減。
- ・震災等の対応によって市財政は非常に厳しい状況。

## 4. 歳入の状況

- 市税については、対前年度比 1.7%増の 56 億 232 万 2 千円。年間給与総額の増加等により個人市民税が 18 億 9,000 万円 (対前年度+8,120 万円)。
- 地方交付税については、対前年度比 3.2%減の 71 億 6 千万円。地方財政計画 2.2%減に対し、本市が 3.2%減となっている要因は、合併算定替の減及び高齢者福祉費の単位費用の減。
- 県支出金については、対前年度比 8.5%増の 26 億 5,052 万 8 千円。被災者住宅支援資金交付事業費補助金 (4 億 7,099 万円、皆増)、自立支援給付費負担金 3 億 1,487 万 3 千円 (対前年度 Δ9 万 1 千円)、保育所運営費負担金 2 億 4,088 万 6 千円 (対前年度 Δ1,354 万円) など。

○市債については、対前年度比 31.9%減の 14 億 8,144 万 3 千円。地域総合整備資金貸付事業債（対前年度 Δ4 億 1,300 万円）、公営住宅建設事業債（170 万円、対前年度 Δ2 億 420 万円）、小学校施設整備事業債（対前年度 Δ1 億 3,430 万円）が主な要因。また、災害復旧債は 1 億 250 万円で対前年度 7,440 万円の増。

（単位：千円）

区 分	H29 年度 当初予算①	H28 年度 当初予算②	増減 ① - ②	前年度 対比(%)
市税	5,602,322	5,506,826	95,496	1.7%
地方交付税	7,160,000	7,400,000	Δ240,000	Δ3.2%
分担金及び負担金	240,941	239,454	1,487	0.6%
国庫支出金	3,808,589	3,935,655	Δ127,066	Δ3.2%
県支出金	2,650,528	2,442,544	207,984	8.5%
市債	1,481,443	2,176,925	Δ695,482	Δ31.9%
うち臨時財政対策債	809,743	758,125	51,618	6.8%

※地方交付税 + 臨時財政対策債

7,969,743 千円 （対前年度比 Δ188,382 千円、 Δ2.3%）

## 5. 歳出の状況

○人件費については、37 億 1,351 万 8 千円と 28 年度に比べ 1 億 8,533 万 1 千円、5.3%の増。退職手当（2 億 2,073 万 3 千円、対前年度+9,295 万 8 千円）、特別職給与費（5 億 9,329 万円、対前年度 +3,191 万 1 千円）が主な要因。

○扶助費については、59 億 3,537 万 6 千円と 28 年度に比べ 1 億 4,317 万 9 千円、2.4%の減。保育所運営（15 億 8,052 万 6 千円、対前年度 Δ9,619 万 1 千円）、臨時福祉給付金（対前年度 Δ6,150 万円、皆減）が主な要因。

○補助費等は、28 億 7,045 万 9 千円と 28 年度に比べ 6,960 万 6 千円、2.5%の増。被災者住宅再建支援事業（5 億 2,120 万円、皆増）、企業誘致（1 億 215 万 5 千円、対前年度 Δ3 億 5,462 万 7 千円）が主な要因。

○普通建設事業費は、18 億 4,935 万 7 千円と 28 年度に比べ 6 億 8,184 万 4 千円、26.9%の減。地域住宅交付金事業（7,980 万 9 千円、対前年度 Δ3 億 3,638 万 6 千円）、小鴨小学校校舎増築事業（対前年度 Δ1 億 8,552 万 9 千円）、関金小学校改修工事（対前年度 Δ8,384 万円）、倉吉歴史民俗資料館屋根外壁改修工事（対前年度 Δ8,942 万 8 千円）が主な要因。

○災害復旧事業費は、1 億 5,661 万 3 千円と 28 年度に比べ 5,511 万 3 千円、54.3%の増。鳥取中部地震からの復旧経費を計上したため増加。

## 6. 主な事業

### (1) 震災からの復旧復興

※【 】の頁番号は資料「平成 29 年度予算主な事業」の頁番号

- (新) 被災者住宅再建支援 5 億 2,958 万 8 千円 【P5】
- (新) 防災行政無線小田山自動中継局、防火水槽の修繕など消防施設災害復旧 780 万円 【P9】
- (新) 倉吉福祉センターの復旧支援 2,591 万円 【P18】
- (新) 被災慰霊碑の修繕支援 277 万 6 千円 【P19】
- (新) 被災農業施設等の復旧の資金の利子補助 2 万 4 千円 【P26】
- (新) 被災急傾斜地で、人家に被害を及ぼす恐れのある箇所への復旧等 4,950 万円 【P30】
- (新) 被災農林施設・作業道の修繕・補修等 1,156 万 6 千円 【P30】
- (新) 震災の影響を受けた中小企業に対する貸付 9 億 5,000 万円 【P31】
- (新) 被災した倉吉打吹地区の街なみ環境整備支援 7,118 万 6 千円 【P32】
- (新) 水路、道路等地域の共同施設の復旧支援 400 万円 【P33】
- (新) 道路など公共土木施設の災害復旧 3,082 万 5 千円 【P36】
- (新) 被災者が民間賃貸住宅への入居する際の家賃等支援 1,320 万円 【P36】
- (新) 市営住宅の災害復旧 300 万円 【P37】
- (新) 市営射撃場の災害復旧 73 万 6 千円 【P43】
- (新) 伝統的建造物群保存地区の建築物修理支援等 2 億円 【P43】
- (新) 被災した文化財の復旧支援等 550 万 2 千円 【P44】
- (新) パークスクエア屋根付通路の復旧 118 万 6 千円 【P45】
- (新) 廃線トレッキングトンネル点検 290 万 6 千円 【P14】
- (新) 地域の防災リーダー（防災士）の育成 41 万 4 千円 【P7】
- (新) 地震ハザードマップ作成 156 万 6 千円 【P6】
- (新) 家屋被害調査、義援金配分など震災関連に係る事務費 1,707 万 7 千円 【P4】
- (新) 震災復興 関金温泉開湯 1300 年祭推進事業 420 万円 【P17】
- 震災復興 音楽配信サイト「ひなビタ♪」を活用した観光客誘致促進 400 万円 【P17】

### (2) いきいき働くことができるまち【産業】

- (新) 花であふれる街並み環境整備 100 万円 【P15】
- (新) 国民保養温泉地計画策定 89 万 7 千円 【P16】
- (新) 企業等が農業に新規参入するのに必要な経費を支援 134 万円 【P27】
- イノシシ等の有害鳥獣の捕獲や電気柵設置の支援 3,847 万 7 千円 【P25】
- 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業 4,883 万 4 千円 【P25】
- 第 11 回全国和牛能力共進会出品支援など 100 万 2 千円 【P27】
- 鳥取和牛を振興するための支援 2,938 万 4 千円 【P28】
- 林業の活性化促進のための林道円谷福山線等整備県負担金 767 万 1 千円 【P29】
- 企業誘致促進補助金等 1 億 696 万 3 千円 【P31】
- 農業委員会に農地利用最適化推進委員を新設 1,065 万 6 千円 【P47】

### (3) いつまでも健やかに過ごせるまち【福祉・健康・人権】

- (新) 子どもの居場所づくりを行う団体等の立ち上げの支援 40万円 【P19】
- (新) 公立保育所における指定管理者制度の導入 944万2千円 【P20】
- (新) 低年齢児保育室整備費の支援 270万9千円 【P21】
- (新) 生活困窮者の生活、学習支援 2,440万2千円 【P18】
- (新) 公立保育所臨時保育士の処遇改善の実施 1億3,740万円 【P20】
- (新) 成年後見人になれる市民の養成 262万7千円 【P22】
- (新) B型肝炎ワクチン接種 932万9千円 【P24】
- 病児・病後児保育事業 1,605万3千円 【P22】
- 不妊・不育治療費の支援 470万円 【P23】
- 妊娠期から出産後までの不安定になりがちな妊産婦を総合的に支援 487万1千円 【P23】

### (4) 活気に満ち、豊かな心と文化が息づくまち【教育・文化・コミュニティ】

- (新) 学校業務支援システムの導入 1,379万1千円 【P38】
- (新) 学校、家庭、地域が連携して子どもたちの成長を支援 217万3千円 【P39】
- (新) 経済的な理由などで学習習慣が身につけていない中学生の学習支援 120万円 【P39】
- (新) 発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究 348万9千円 【P40】
- (新) 医療的ケアなどで公共交通機関での通学等が困難な児童生徒の通学支援 192万7千円 【P40】
- (新) 緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練等防災教育の推進 197万1千円 【P41】
- (新) 中学校の部活動を行う地域指導者の活用推進 62万4千円 【P41】
- (新) 中学校への監視カメラ設置他改修費 431万6千円 【P38】
- (新) 市営野球場バックスクリーン等整備 715万1千円 【P42】
- (新) くらすけくんのLINEスタンプ作成 13万5千円 【P11】
- 第九倉吉公演、第35回アザレア音楽祭の支援 114万5千円 【P13】
- 倉吉淀屋改修 3,869万9千円 【P44】
- 若者定住・IJUターン事業 640万1千円 【P12】
- 里見ブランド化推進事業 208万6千円 【P13】
- 市営陸上競技場排水路改修 1,782万3千円 【P42】

### (5) 安全・安心で快適に暮らせるまち【生活基盤・環境・防災】

- (新) 倉吉市で開催される「全国道の駅連絡会総会」等負担金 80万円 【P32】
- (新) 農村地域の減災防災のためのため池老朽化改修費県負担金
- (新) 北条用水地区の防災のための改修費県負担金等 計795万円 【P29】
- (新) 河川の浚渫など安全対策 1,600万円 【P35】
- (新) 防災センター案内看板の設置 188万9千円 【P8】
- (新) 避難道路の整備 2,700万円 【P34】
- 小型動力消防ポンプの更新 1,010万円 【P5】
- 耐震性貯水槽の整備 2,207万1千円 【P6】
- 防災行政無線の耐用年数を超過する機器の更新 3,427万7千円 【P8】

打吹公園管理事務所の整備及び都市公園の遊具更新 2,850 万円 【P33】  
地域活力基盤創造交付金を活用した道路整備 2 億 3,320 万円 【P34】  
防災・安全交付金を活用した道路整備 5 億 9,480 万円 【P35】  
大坪住宅建替に伴う金谷住宅等の撤去 7,980 万 9 千円 【P37】